

会

派

の

意

見



輝（かがやき）

令和8年度初となる6月議会では、令和8年度一般会計補正予算を含む28議案が審議され会派「輝」は全議案に賛成しました。補正予算の主な内容は大川溢水による浸水被害に関連した修繕料や損害回復の費用が挙げられます。今後原因や過失割合について詳細な調査が行われま

すので会派として審査していきたいと思っています。また、一般質問は一括方式、一問一答方式の選択制で行われました。一問一答方式で登壇順に平木が「森林整備」他、大伴が「文化ゾーンリノベーション」と老朽化マンション・大規模団地のまちづくりについて、他、富田が「COOL CHOICE実践補助金について」他について市政の現状を問い、課題を提起するとともに、改善策を提案いたしました。

それぞれの内容については、この議会だよりや市議会ホームページの録画映像をご覧ください。

文責は各会派にあります。

日本維新の会

令和8年6月議会での一般質問では、木曾 拓朗から「「フレイル予防」を通じた高齢者支援、ならびに若者支援」、「「遺贈寄附」の周知と受け入れ体制の整備」、「少子化対策」について質問し、長岡京市が実施している高齢者の保健事業と介護予防に関する事業の実績、効果、課題を確認しました。

一方、終 彰からは「カスマーハラスメント防止対策」、

「デジタル技術を活用した市民参加の機会拡大」、「外国人住民との共生社会の推進」について質問し、本年10月施行のカスハラ防止対策の推進や人口減少社会でのまちづくりの基本となる外国人住民との多文化共生を進めるよう要望しました。

一方、3月以降、3件の道路補修に関する指摘を建設交通部に即日対応していただきました。今後も様々な課題に取り組んで参りますので市民のみなさまの「声」をお聞かせください。

終 彰・木曾 拓朗

令和自民党クラブ

6月議会では、本市農業委員会の委員14名の任命や新庁舎の浸水被害の修繕費などが計上された一般会計補正予算案等の議案を賛成しました。

任命された農業委員さんには、本市農地利用の最適化や、農地転用等意見具申をお願いします。天神通り道路整備に関して質問し、電線地中化や歩道の工事を進め、雨庭やベンチ等設置を検討し進めるとの回答を得ました。

桜・梅等を加害するクビアカツヤカミキリについて質問し、本市で被害はないが継続して情報収集を行うとの回答を得ました。ガラシャPayに関して質問し、前回より発行額が約3億円増加、登録者数1万1千人で過去最多、また秋の同事業は商工会と検討して地域経済活性化に取り組むとの答弁を得ました。

今後市民の安全安心と豊かさを実感できるまちづくりに取り組みで参ります。

三木常照・八木優貴
中小路貴司

令和西山クラブ

6月定例会において、『リチウムイオン電池の回収に関して』成果や今後の周知・啓発について、『公園の活用方法に関して』新たな取り組みやドッグランについて、『発達障がい児への支援体制の充実に関して』向日が丘発達支援室との連携について、『放課後児童クラブに関して』児童数の増加対策について等の質問をしました。

リチウムイオン電池回収につ

いては、身近な場所で排出できる安心感を持ってもらえたとのこと、公園活用の一つとして、『ドッグランイベント』を秋頃に長岡公園で開催予定であること、発達障がい児への支援は京都府と連携し、個々の児童に応じた適切なサービスを提供すること、放課後児童クラブ、とりわけ長岡第九小学校の放課後児童クラブは今後、隣の「きりしま苑」を活用することなどの答弁があり、今後の取り組みに期待をしております。

上村真造・田村直義・毛利 元

日本共産党

市民の願い実現へねばり強く

高校生の医療費助成を通院にも広げる（来年4月から）ことや、発達支援の必要な子どもたちの初診待機の短縮、学校への冷水機やウォーターサーバー設置（来年度）、学校トイレへの返却不要の生理用品配置、郵便投票の自己負担解消、はんきゅうブランドパス値上げに伴う補助拡充など、求めてきた施策が前進する答弁がありました。

アメリカ・イスラエルのイン攻撃は、国際法違反の暴挙です。高市首相はアメリカを批判しないも、市長が「武力行使はいかなる国に対しても断じて許されない。外交努力を」と答弁したことは重要です。

戦争の影響で物価高や物資不足が起きている。生活支援・事業者支援を市長へ求めましたが、具体的な予算化には至っていません。政府に対しても多岐にわたり対策を求める意見書を提案し、可決されました。引き続き、市民の声を届けます。

長岡京未来の会

今回の6月議会では、総額で約1億円の一般会計補正予算などを審議しました。

児童福祉法等の改正に伴い、これまで満3歳未満までの小規模保育事業でしたが、満3歳以上限定の小規模保育事業も行えるよう条例を改正し、多様なニーズへの対応ができるようになりました。またこれまでの保健師・看護師・准看護師を一人に限り保育士とみなすことができ

る規定に、別途、理学療法士等の専門職員を一人に限り保育士とみなすことができる規定を加えました。

引き続き本市の特色を鑑みて、より良い制度として機能していけるのかも含めて注視してまいります。

そして、0、1、2歳児の保留児童の課題等を、議会全体で知恵を出し合い、行政の皆様とともに解消に向け、私たち党派としてもその一助となるよう努力いたします。

小谷宗太郎・川口良江

公明党

危機管理強化の再確認と

市民の憩いスペース構築を第2回定例会において一般会計補正予算案を含む計28議案に対し熟読精査した結果、賛成致しました。

一般質問では「犬川における浸水被害について」被害を受けた事業所への早急な生活再建の実施と、氾濫の原因・浸水被害の修繕費用、歩道整備工事の完成時期への影響について、

「学校図書館の整備等及び新聞配備、図書館や公共施設等でのスペース作りと有効活用、フリーWi-Fi設備」の今後の取り組み状況について質問しました。

意見書として「すべてのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める」と「ドナーミルクの利用拡大を求める」の2案を提出させて頂き、全会一致で可決されました。

公明党として、市民生活に直結する課題解決に取り組み、市民の皆さまが安心・安全に暮らせるように努めて参ります。

会派とは、同じ意見や考えを持つ議員が集まってつくるグループのことです。
ここでは6月定例会で審議された内容について、各会派の意見を紹介します。